

国立研究開発法人  
産業技術総合研究所（産総研）

生命工学領域  
研究員公募説明会  
～イントロダクション



生命工学領域  
副領域長 宮崎 歴

# 産総研の概要

## 人員

約**10,000** 名  
が研究開発活動を実施

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 研究職員（常勤のみ）      | 約2,300名 |
| 事務職員            | 約700名   |
| ポスドク等の契約職員      | 約3,100名 |
| 大学・企業等からの外来研究員等 | 約4,300名 |

## 予算

総収入額は  
約**1,100** 億円（2020年度）



## 拠点

日本全国に  
**11** 研究拠点

北海道センター    関西センター    FREA（福島）  
東北センター    中国センター    柏センター  
つくばセンター    四国センター    臨海副都心センター  
中部センター    九州センター

## 研究領域

**7** 研究領域  
にまたがる広範な研究体制

|            |               |
|------------|---------------|
| エネルギー・環境領域 | エレクトロニクス・製造領域 |
| 生命工学領域     | 地質調査総合センター    |
| 情報・人間工学領域  | 計量標準総合センター    |
| 材料・化学領域    |               |

# 全国の研究拠点

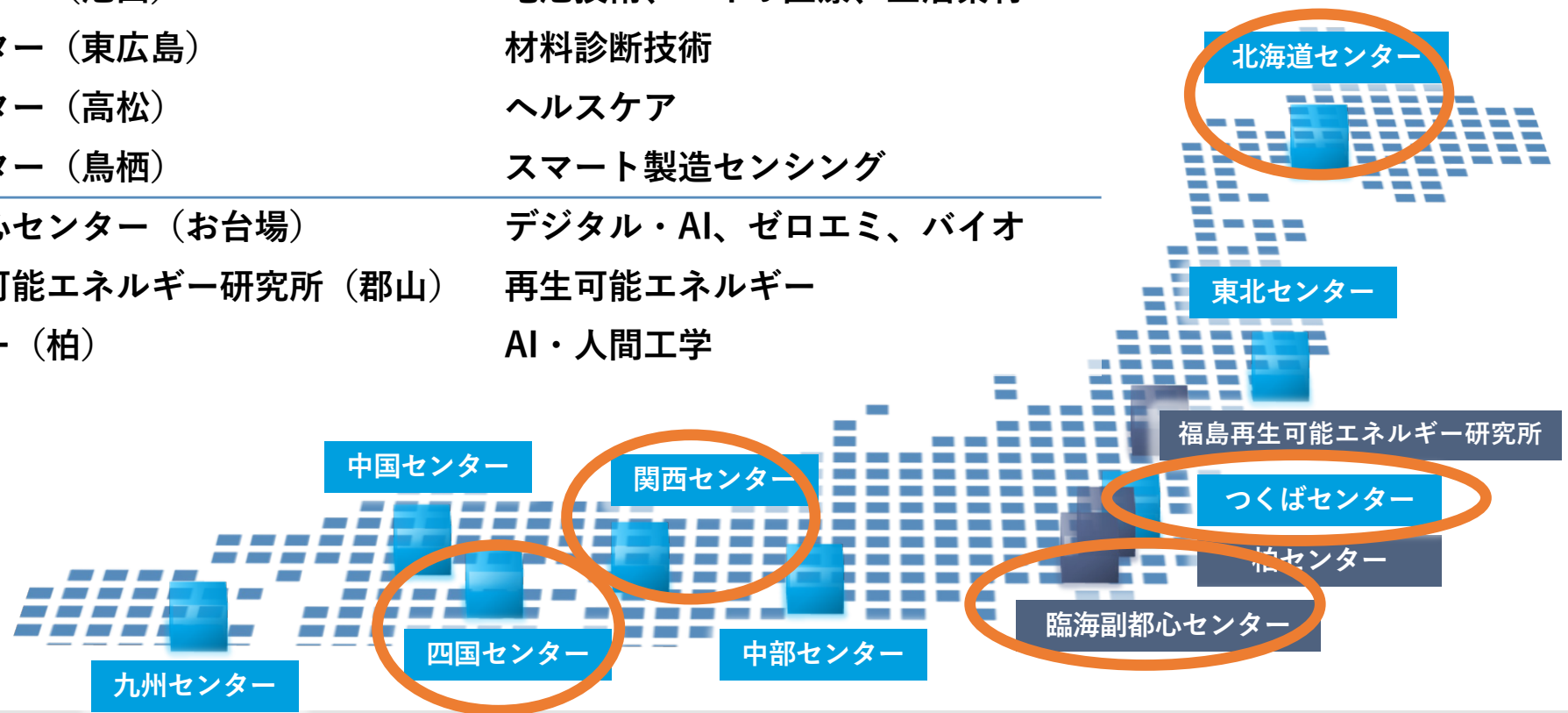
地域イノベーションに貢献するために全国に地域拠点を配置

地域の産業構造やニーズ・シーズに沿った研究開発を全産総研のネットワークを活用して実施

## 地域拠点

## 看板テーマ

|                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 北海道センター（札幌）        | バイオものづくり         |
| 東北センター（仙台）         | 資源循環技術           |
| 中部センター（名古屋）        | 機能部材             |
| 関西センター（池田）         | 電池技術、バイオ医療、生活素材  |
| 中国センター（東広島）        | 材料診断技術           |
| 四国センター（高松）         | ヘルスケア            |
| 九州センター（鳥栖）         | スマート製造センシング      |
| 臨海副都心センター（お台場）     | デジタル・AI、ゼロエミ、バイオ |
| 福島再生可能エネルギー研究所（郡山） | 再生可能エネルギー        |
| 柏センター（柏）           | AI・人間工学          |



# ともに挑む。つぎを創る。

未来をデザインし、社会と共に未来を創る。  
互いを認め、共に挑戦する研究所を築く。

## 私たちの使命

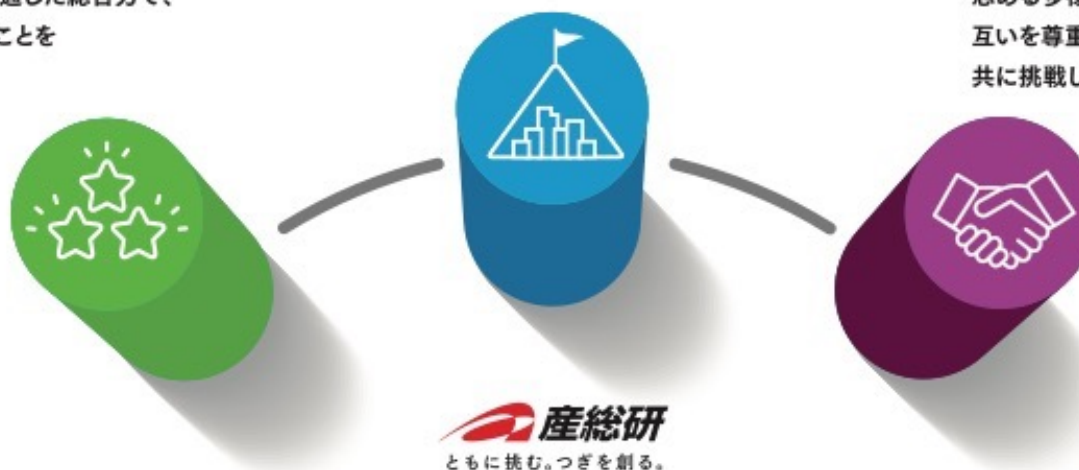
世界水準の研究のみならず、  
社会課題の掘り起こし・施策提言・社会実装・  
知的基盤整備などあらゆる活動を  
これまでの産総研の枠を超えて推し進めます。

## 私たちの価値観

強い個の発揮と協働を通じた総合力で、  
多様な価値を創り出すことを  
大切にします。

## 私たちの文化

志ある多様な人材が集い、  
互いを尊重しながら、  
共に挑戦し成長する文化を育みます。



## 世界に先駆けた**社会課題の解決**と **経済成長・産業競争力の強化**に 貢献する**イノベーションの創出**

産総研の総合力を生かして国や社会の要請に対応する  
世界最高水準の研究機関を目指す

# 産総研の研究開発の特徴

- 社会実装研究が最大重要ポイント！  
（研究開発が社会で使われること）
- 企業との共同した応用研究・橋渡し研究が多い
- NEDOやAMEDのような目的基礎研究が多い
- ユニットやチームのミッションに貢献する研究課題設定をして研究実施
- 現象の追求のようなアカデミック研究よりもエンジニアリングのような技術につながる開発が主体





# 生命工学領域のミッションと戦略 Mission and Strategy

少子高齢化等の社会課題の解決と  
経済成長・産業競争力の強化に貢献する  
イノベーションを創出する

Create innovations that contribute to solving social  
issues and enhancing economic growth

医療機器の  
高度化

医薬候補物質  
の探索・評価

ヘルスケア  
基盤研究

層別化医療に  
向けた診断技術

生物資源循環  
の設計・構築

医薬品製造  
技術の高度化

## 次世代医療基盤

Next-Generation Medicine

豊かで健康的なライフ  
スタイルの実現を目指して

## 生物資源高度利用

Biological Resources Utilization

生物資源生産・利用技術の開発  
によるバイオエコノミー社会の実現へ

## 先進バイオ高度分析

Advanced Bio Precision Analysis

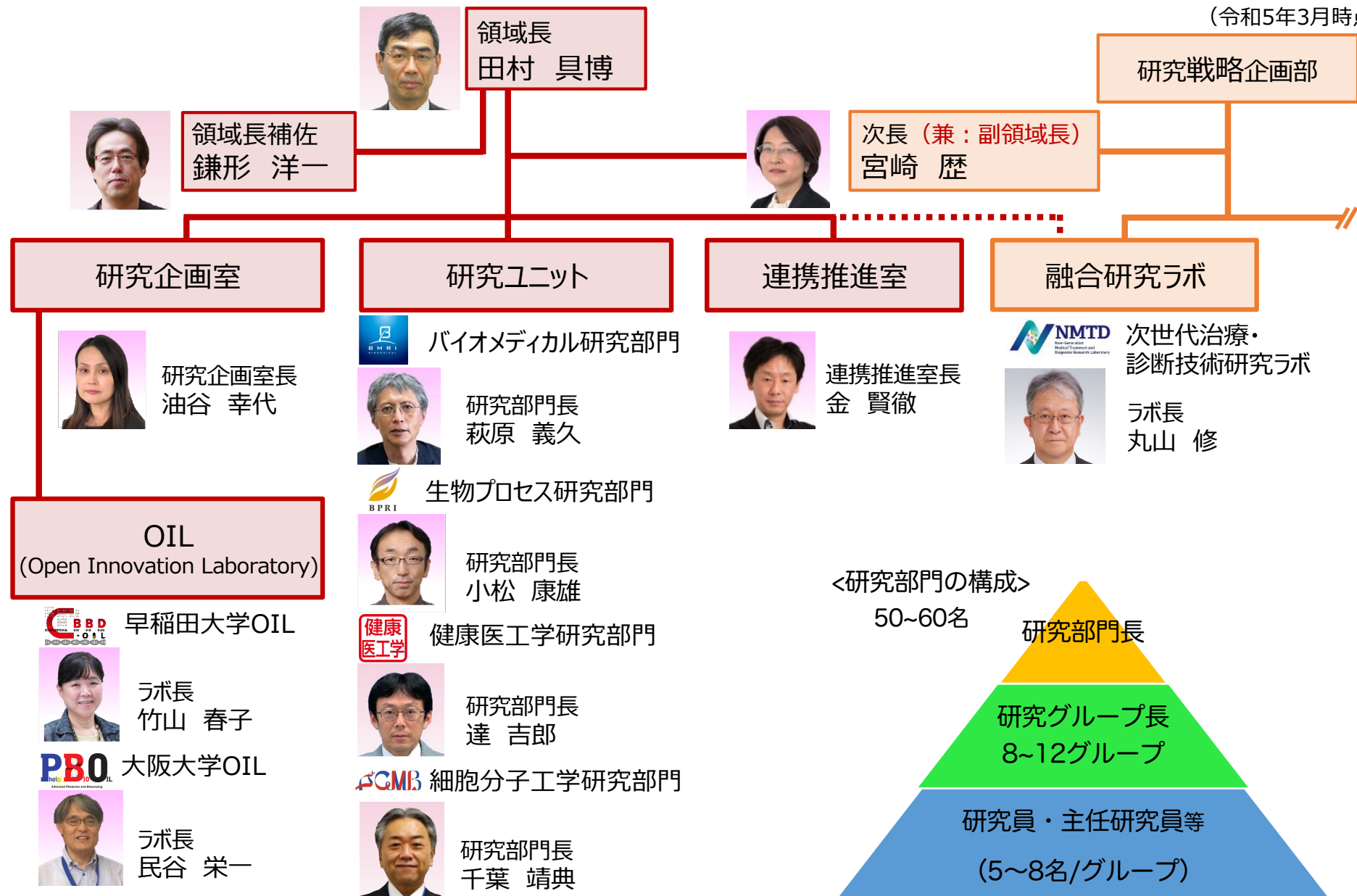
イノベーションを支える基盤技術の整備による  
バイオデータ駆動社会の実現へ

高機能  
生物生産技術

バイオ資源の  
探索・解析

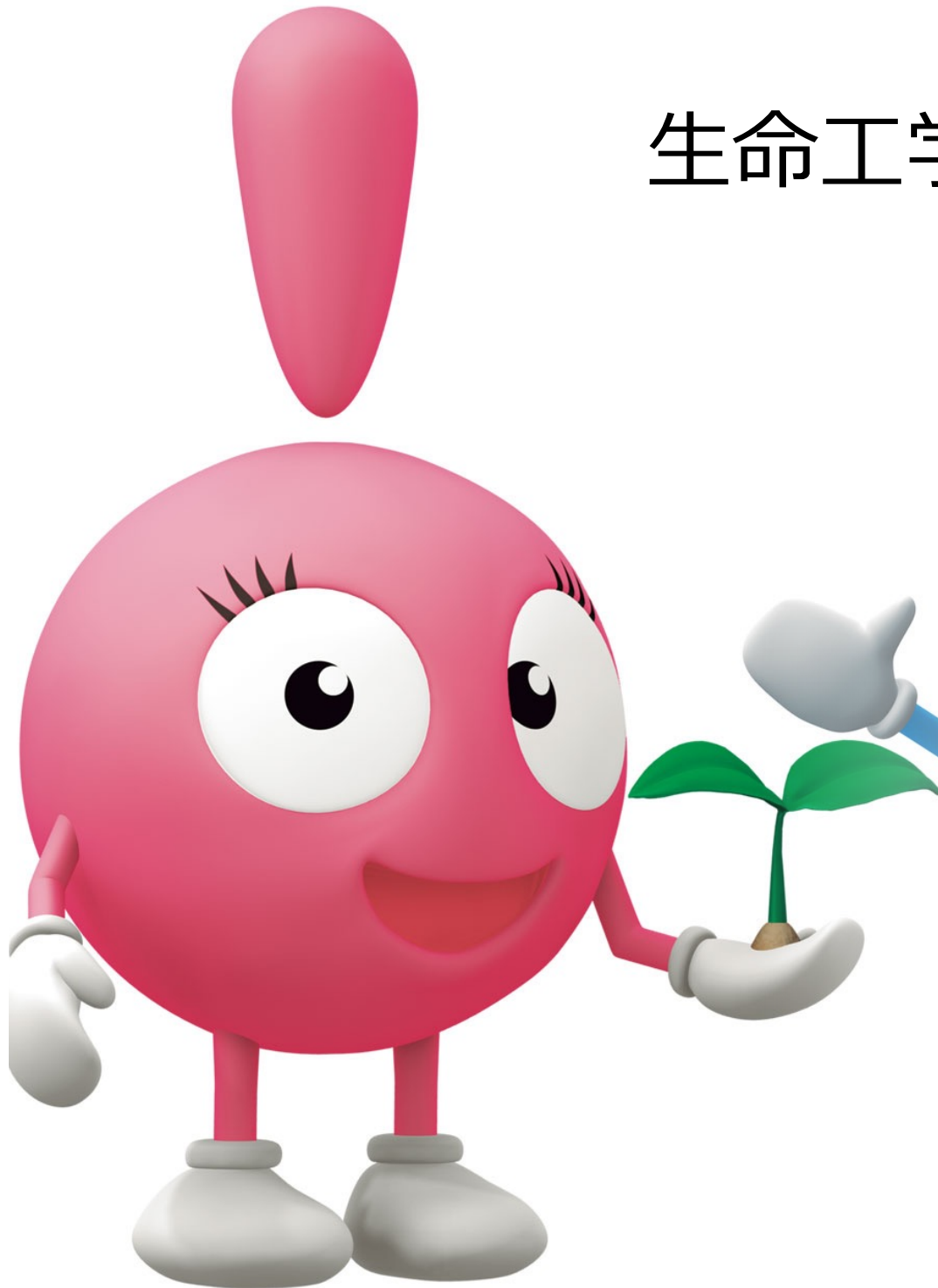
# 生命工学領域の研究組織

(令和5年3月時点)





# 生命工学領域の求める人材



- 研究推進力のある人
- 産総研のミッションを理解し、応用研究と基盤研究をバランスよくこなせる(こなしたい)人
- これまでの研究内容にこだわらず、柔軟な研究課題の実施ができる人
- 学位の有無に関係なく、企業での研究経歴や優秀な実績を挙げ研究意欲旺盛な修士の方も可
- チーム研究を妨げない協調性のある人



## 産総研の研究職採用；採用プロセス・スケジュール

応募 Application

書類選考 Document-  
based Screening

適性検査  
Aptitude Test

一次面接  
1<sup>st</sup> stage interview

二次面接  
2<sup>nd</sup> stage interview

採用内定 Result

修士型；マイページにて3/1情報公開  
その他；第1回公募は3月末～4月公募開始、5月上旬応募×切  
第2回公募は9月公募開始、10月中旬応募×切

The screenshot displays the AIST website's recruitment section. At the top, there's a navigation bar with links like '産総研について', 'ニュース', 'アクセス', etc. Below this, a main menu highlights '採用情報' (Recruitment Information). The page is divided into sections for '研究職' (Researcher), '事務職' (Administrative), and '契約職員' (Contract Staff). Under '採用情報', there's a sub-section for '採用情報' (Recruitment Information) which includes a QR code for more details. The page also features a '新卒採用' (New Graduate Recruitment) section with icons for '中途 / 既卒' (Mid-career / Former graduates) and '新卒採用' (New Graduate Recruitment). The '新卒採用' section lists '修士型研究職' (Master's type research position) and '博士卒以上研究職' (Doctorate or above research position).

# 生命工学領域でのR5年度公募予定

合計20名程度

公募開始 R5.4から約1ヶ月（第1回）予定  
R5.9から約1ヶ月（第2回）予定

## @パーマネント型研究員

- LS-1（生命工学領域 研究部門指定なし）
- BMRI-1（バイオメディカル研究部門）
- HMRI-1（健康医工学研究部門） 地域（四国C）重点枠あり
- BPRI-1（生物プロセス研究部門） 地域（北海道C）重点枠あり
- CMB-1（細胞分子工学研究部門）

地域重点枠は着任が地域（数年は地域勤務）。

産総研ではミッションに応じて拠点間移動やユニット間異動がある。

応募時に第1希望から第4希望まで選択（他領域も含め）

これ以外に年俸制任期付（5年X2回）、プロジェクト型任期付（2～5年）

女性研究員大募集！ 修士卒（企業実績あり）の方はLS-1で応募ください。

新卒修士（来年度M1）の方はR6年3月開始の修士型採用への応募を。

<https://unit.aist.go.jp/drp-lsbt2022/index.html>

